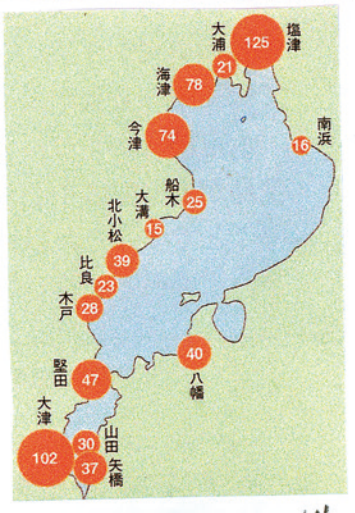
淡海の船新聞

淡海の船新聞
令和2年8月14日
境南小学校
3年2組
高橋周

輸送の主役
丸子船

琵琶湖は昔の高速道路

鉄道やトラックのない時代に、たくさんのものを運ぶには、船が必要だった。江戸時代には丸子船と呼ばれる琵琶湖専用の船が、多くて130そうも利用された。塩津から大津までは一昼夜から二日で運んだ。積荷の量は100石が多く、今でいう10トントラック15台分を運んでいた。大津は、大阪への送り道の中継地として、今津、大浦、海津、塩津は北陸と大津を結ぶ港として栄えた。

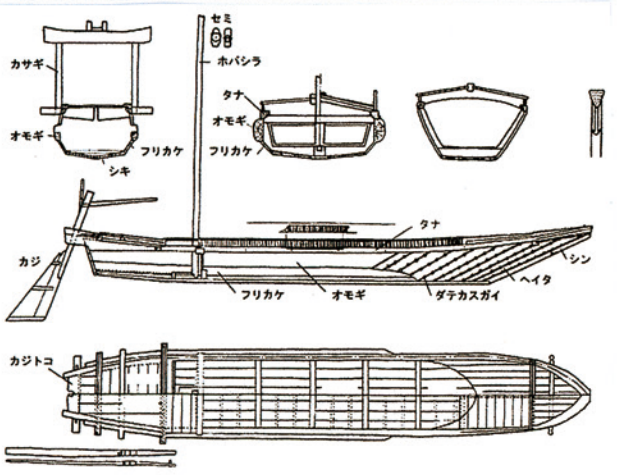


1677年の港別丸子船数

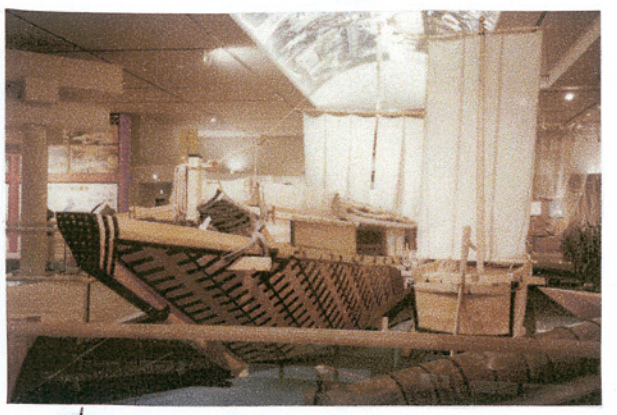
丸子船(復元)

淡水・浅瀬に最適

丸子船は、水の深さが浅い琵琶湖にあわせて、船そこは丸みを帯びていて、喫水をおさえている。また、琵琶湖は淡水なので浮きにくいので、丸子船にはいろいろな工夫がしてある。その工夫の一つが「ヘイタ」である。「ヘイタ」とは、板を斜めに張りあわせて、船首を形づくったものである。また、「ヘイタ」は丸子船が始めて考えたもの。また、工夫の一つで重要な物「オモキ」を両がわに取りつけている。「オモキ」とは太い木のことを指す。



戦前の丸子船－船構造図と名称



復元丸子船

運ぶ船から楽しむ船へ

蒸気船から遊覧船へ

明治2(1869)年に琵琶湖初の蒸気船「一番丸」が登場した。11年後には鉄道も開通したが、1889年に汽船は東海道線開通によってすいたいし、そのあと、汽船は観光にかじを切り、現在は遊覧船になった。

汽船「一番丸」を描いた錦絵

遊覧船「ミシガン」

編集後記

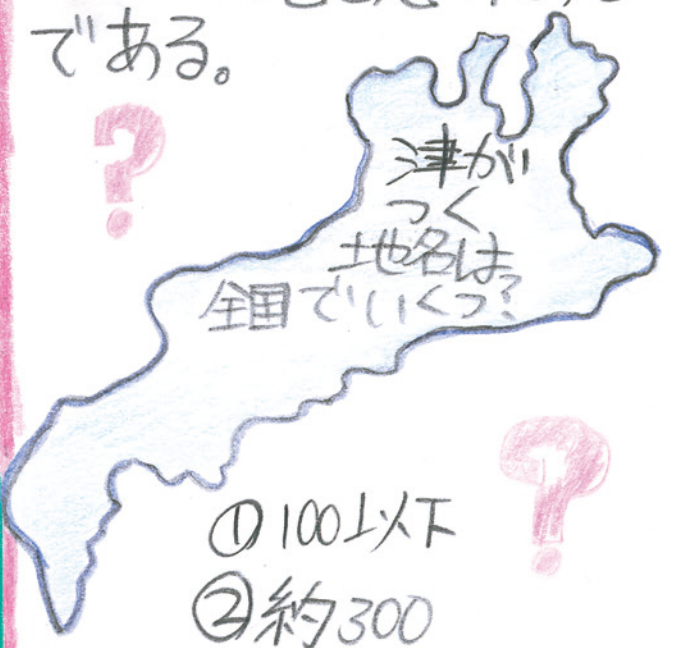
大河ドラマを見て、城が好きになり城が多い滋賀県を調べた。たくさんしらべて、丸子船が戦国時代にあることや、江戸時代に1300そもあったことにおどろいた。また、琵琶湖の近くには水城が多かったことを知って、昔から琵琶湖に人々は目をつけていたことがあらためて分かった。

参考文献

- 12歳から学ぶ、滋賀県の歴史(サンライズ出版)
- びわこの考古学46(丸子船)横田洋三
- 琵琶湖の船が結ぶ絆(サンライズ出版)
- web版図書館しが第21号(滋賀県立図書館)

クイズコーナー

「津」とは港を意味する地名である。



①100以下
②約300
③約700

ヒントは②と③